

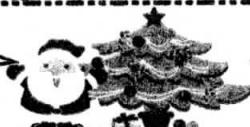
よえもん

2014年12月

第 20 号

シリーズ
よえもん

くらしきたてる



よえもんさんは、望みどおり、お母さんに参行をつくすことが
できるようになりました。よえもんさんは、くらしきたてるために
小川村でお酒を売ることにしたら、ついでに正直な
酒屋さんとして、評判になりました。それは、お酒を買いたいにした
人の仕事ぶりによって、お酒の量を加減したのです。
余分には売らないので、よっぽういやお金を使いすぎる人が
なくなりました。よえもんさんが、村人たちに学問を教えている
ときにお客様さんがくると、お店番ができませんでした。そこで、
こんなばかり歓をしました。

かめにあるお酒を自由にはかって、持つていってください。

代金は竹づつに入れておいてください。店主

明人たちは、まちがいが起きないかと、びっくりしましたが、
「人はみな、誰でもが良い人なのです。まちがいなど
起きるはずもない。」 といってよえもんさんは笑って
講義を続けました。毎日、夕方にかけて調べてみると、
代金はいつもきっちりと竹づつに入っていました。

この火鉢を利用した酒桶は、記念館で展示しています。



今月のことば

人々の心の中に
明徳と名づけたる

無価の寶あり

出典・書・渕田瑞穂さん
鑑草

「人々の心の中には、生まれながらに明徳という
非常に尊い宝がある」という意味です。
藤樹にとって、第一の宝は明徳であり、生まれながらの
宝といいます。経済的豊かさや身分の高さなどは、
世間の宝といい、第二の宝です。求めて得られる
とは限らない世間の宝よりも、誰もが持つこの明徳
という宝こそ、親が子に与える最も尊い贈り物
なのです。この宝さえあれば、その心は常に樂しく、
子孫も豊かに栄えるのです。明徳…立派な道德心

記念館さんぽ こここ

寒さも少しずつ厳くなり、冬の訪れを感じる記念館と陽明園ですが、
濃いピンクのお花 サザンカが
咲き始めました。江戸時代から
親しまれている日本が原産地のお花です。

お知らせ

記念館は 12/28(日)～1/5(日)

の間、年末年始の為 休館します。